

農福連携推進フォーラム

～ さらなる農福連携のための、農と福祉のマッチングの拡大に向けて！ ～

昨今、農福連携に対する関心が急速に高まり、多様な担い手が農福連携に取り組み始めている中、さまざまな課題に向き合っている現状があります。

そこで本フォーラムでは、“「農」と「福」のマッチング”をテーマに、課題解決に向けてのヒントとなる取組等をご紹介します。

本フォーラムを通じて、農業側と福祉側の双方の課題解決につながる、農福連携の一層の推進について、議論を深めていただく場をご提供できればと考えております。

日時

平成31年3月20日(水)

◆第1部：フォーラム 13:00～16:45【受付：12:00～】

◆第2部：特別セッション 17:30～19:00

会場

第1部：農林水産省7階講堂 / 第2部：農林水産省7階 共用第2会議室

参加費

無料 / 第1部 定員：250名(事前申込制)

第2部 *セッション参加者定員：10名(事前申込制)

*聴講者定員：40名(事前申込制)

第1部

1. 基調報告 ①「農福連携を推進していくためのマッチング体制の構築について」

農林水産政策研究所 企画広報室長兼首席政策研究調整官 吉田 行郷 氏

②「福祉分野からの農業参入支援について」

法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 眞保 智子 氏

2. 取組事例紹介 ①「農福連携のマッチング支援について～香川モデル～」

NPO法人香川県社会就労センター協議会 代表 高橋 英雄 氏

②「障害者の農業経営体での就労支援について～現場のニーズ～」

JAめぐみの 中濃営農経済センター 営農課長 武藤 保 氏

③「特例子会社の農福連携と地域創生」

パーソルサンクス株式会社 代表取締役 中村 淳 氏

3. パネルディスカッション

「農と福のマッチングの推進に向けて、何をすべきか」

◆コーディネーター：吉田 行郷 氏

◆パネラー：眞保 智子 氏 / 高橋 英雄 氏 / 武藤 保 氏 / 中村 淳 氏

4. 行政報告 農林水産省都市農村交流課 / 厚生労働省障害福祉課

第2部

○ 農業者のワークショップ型特別セッション

農福連携を実践している農業者をアドバイザーに迎え、参加者と農福連携での悩みや課題解決方策、知りたい情報を語り合い、「農福連携をより一層良き方向に推進するための」ヒントを見つけていただく場を設けます。

ノウハウ

【第1部 / フォーラムご登壇者】

基調報告

農林水産政策研究所
企画広報室長兼首席政策研究調整官

吉田 行郷 氏



1985年、東京大学農学部農業経済学科卒業、同年に農林水産省入省。構造改善局地域計画課、大臣官房調査課、大臣官房企画室等での勤務を経て、2005年より農林水産政策研究所にて政策研究調整官として勤務。2015年に博士号を取得。2016年より現職。日本の農福連携の研究の第一人者。

法政大学 現代福祉学部
福祉コミュニティ学科 教授

眞保 智子 氏



若者支援とキャリアデザイン、障害者雇用と就労支援、人的資源管理・人材開発を専門とし、退職者の職場復帰に関する従業員支援プログラムの開発等を研究。群馬県雇用戦略本部障害者雇用促進研究会座長、厚生労働省の地域の就労支援の在り方に関する研究会（第2次）委員なども務める。

取組事例紹介

今後の農福連携の鍵となる“「農」と「福」のマッチング”をテーマに、異なる視点で3つの事例をご紹介します。

NPO法人香川県社会就労センター協議会 代表 高橋 英雄 氏

1983年香川県授産施設協議会として発足。2010年香川県社会就労センター協議会として法人化。県内の協議会メンバーである約90の福祉施設のうち、現在施設外就労が可能な25施設が農作業に参加（2017年度）。協議会が共同受注窓口となり、農家と障害者就労施設等をマッチング。

JAめぐみの 中濃営農経済センター 営農課長 武藤 保 氏

岐阜県中濃地域で栽培された里芋「円空さといも」について、出荷前に必要な毛羽取り等の作業をJAめぐみの管内の一部の農家が障害者福祉施設へ委託。今後、作業委託する量を増やす見込みであり、事業拡大に取り組む。

パーソルサンクス株式会社 代表取締役 中村 淳 氏

総合人材サービスパーソルグループの特例子会社として1991年設立。2017年6月から群馬県富岡市で地元伝統産業の養蚕と農福連携で地域創生にも取り組む。2018年には、神奈川県横須賀市に「よこすか・みうら岬工房」を開設し、全国初の自治体と特例子会社による「農福連携」に取り組む。

【第2部 / 特別セッション ～さらなる農福連携推進のための課題解決の道を探る～】

“農福連携に取り組みたい農業者、既に取り組んでいるものの、悩みや課題を抱える農業者の方々へ”

本セッションでは、既に農福連携に取り組んでいる下記の農業者の方々をアドバイザーに迎え、農福連携の取組に関して具体的な悩みや課題を抱えている参加者がアドバイザーと意見を交わし、アドバイスや課題解決となるヒントを得ていただくことを目的とします。

◆参加アドバイザー

- ・静岡県 京丸園株式会社 園主 鈴木 厚志 氏
- ・神奈川県 株式会社元気もりもり山森農園 代表 山森 壮太 氏
- ・岩手県 菅野農園 菅野 千秋 氏
- ・愛知県 農業生産法人みどりの里 野中 慎吾 氏

募集対象

① セッションの参加者

具体的な相談をお持ちの方はセッションの中に入って、既に農福連携に取り組んでいる農業者の方と意見を交わし、アドバイスをもらうことが可能です。

◆定員：10名 ※農業者の方が対象となります。先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。

② セッションの聴講者

セッション参加者とアドバイザーの意見交換を聴講することができます。これから農福連携に取り組んでいこうと考えている農業者、また、既に農福連携に取り組んでいるが具体的な課題を抱える農業者の方々を主な対象として、セッションの聴講を受け付けます。

◆定員：40名 ※農業者の方を優先させていただきます。定員になり次第、締め切らせていただきます。

『農福連携推進フォーラム』参加申込書

◆日時：平成31年3月20日(水)

第1部「フォーラム」 :13:00~16:45

【受付:12:00~】

第2部「特別セッション」:17:30~19:00

◆会場：農林水産省7階講堂 受付は正面玄関より

【会場住所】

東京都千代田区霞が関1-2-1

【最寄り駅】

地下鉄丸ノ内線霞ヶ関駅

地下鉄日比谷線霞ヶ関駅

地下鉄千代田線霞ヶ関駅より

それぞれ徒歩

【運営事務局：一般財団法人地方自治体公民連携研究財団（PPP財団）】

(担当：下田、嶋田宛て)

◆下記に必要事項をご記入の上、FAXもしくはWebでお申し込みください。

FAX 03-5573-4490

Web <http://bit.ly/2SwQCYG>

申込み締め切り
3/15 (金)

第1部のフォーラムに参加を希望される方は、下記をご記入ください。

会社名・組織名		所属・部署名	
属性	農業従事者 / 農業団体 / 行政-農林水産関係 / 福祉事業者 / 行政-福祉関係 / 教育機関 / その他 ()		
お名前		TEL	
メールアドレス		FAX	

第2部の特別セッションに参加を希望される方は、下記をご記入ください。

第2部に参加希望の方は、下記項目にチェックしてお申し込みください。

(注) 第2部のみのお申し込みは受け付けていません。あしからずご了承ください。

「セッション参加者」に参加を希望	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
「セッション聴講者」に参加を希望	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ

※ 第1部のフォーラムの定員は、先着250名です。定員になり次第、締め切らせていただきます。

※ 第2部の特別セッションの定員は、セッション参加者は10名、聴講者は40名とします。なお、参加いただける方には受付票をお送りしますので、当日ご持参ください。

※ 申込用紙に書ききれない場合は、本紙をコピーしてお使いください。

《本件に関するお問い合わせ先》

運営事務局：一般財団法人 地方自治体公民連携研究財団 (担当：下田、嶋田)

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2F

TEL: 03-5573-4261 FAX: 03-5573-4490 mail: info@lg-ppp.jp

主催：農林水産省 厚生労働省

※お申し込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、本フォーラムの運営以外には使用しません。